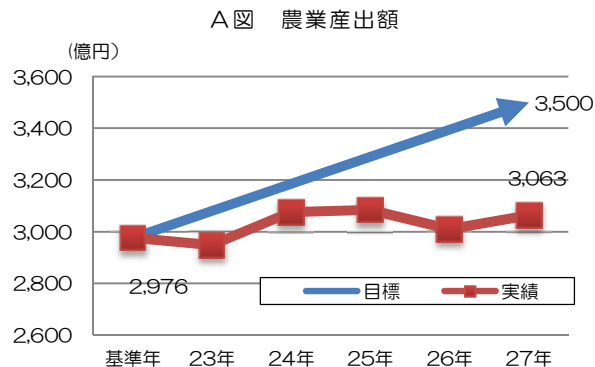


# 第 2 章 主要目標の達成状況と評価

## 1 安全で良質な農林水産物の生産と供給の確保

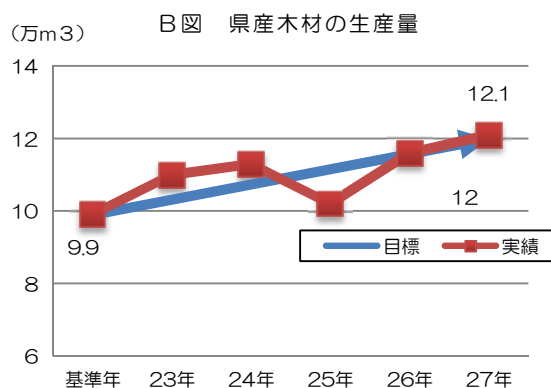
### ● 農業産出額

農業の主要目標である農業産出額は、平成 27 年は 3,063 億円となり、基準年に比べ 87 億円の増加となりましたが、農家数や作付面積の減少などに伴い伸び悩み、目標を下回りました。



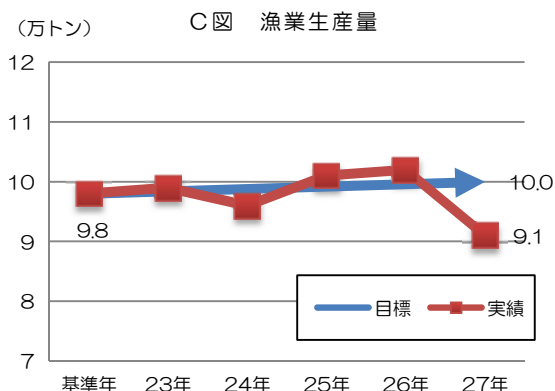
### ● 県産木材の生産量

林業の主要目標である県産木材の生産量は、平成 25 年に一時低下したものの、林業関係者に対して事業地の集約化、高性能林業機械の活用による低コスト化等の働きかけを行い、平成 27 年は 12.1 万 m<sup>3</sup> となり、目標を達成しました。



### ● 漁業生産量

水産業の主要目標である漁業生産量は、のり養殖の生産量が減少する中、平成 26 年まで概ね目標を達成しましたが、平成 27 年は資源の変動が激しい、いわし類などの漁獲量が減少したことに伴い、9.1 万トンとなり、目標を下回りました。

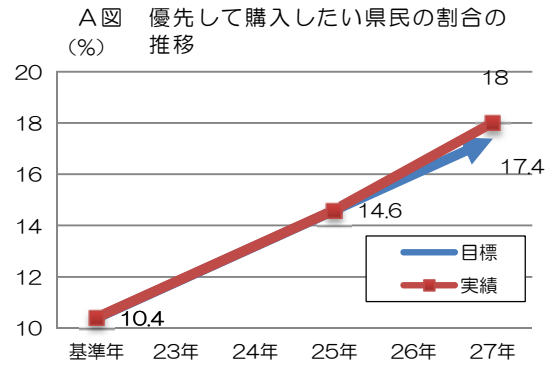


## 2 県産農林水産物の適切な消費と利用の促進

県産農産物等を優先して購入したい県民の割合について、基準年の状況把握に用いた「県政モニターアンケート」が平成 23 年度をもって廃止されました。

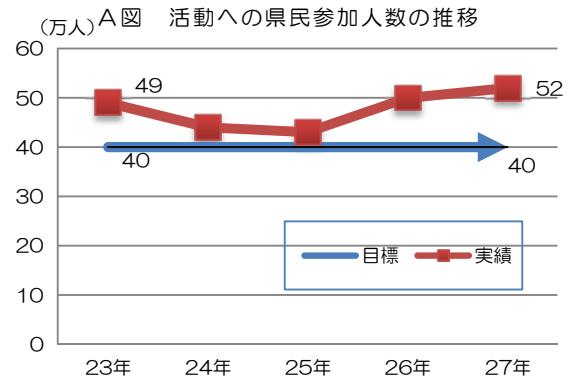
そこで、県政世論調査を新たな指標とし、平成 25 年の現状値に計画で設定した目標値の伸び率を反映させ、最終年度の目標値を 17.4%と設定しました。平成 27 年の実績

は 18.0%となり、県産農林水産物の知名度を向上する取組などを通じて、県産農林水産物を優先して購入したいと思う県民が徐々に増加し、目標を達成しました。



## 3 自然災害から守られ、緑と水に恵まれた生活環境の確保

地域住民と農業者が一体となって農地や用排水路等を適切に管理する取組が定着しつつあり、多面的機能の発揮や理解促進のための活動に、目標である「年間 40 万人」を超える県民が毎年参加しつづけ、目標を達成しました。



目標 No.	項目	平成 27 年度	実績					評価
		目標値 (基準年)	23年	24年	25年	26年	27年	
1	農業産出額	3,500 億円 (2,976 億円)	2,948	3,075	3,084	3,010	3,063	C
2	県産木材の生産量	12 万 m <sup>3</sup> (9.9 万 m <sup>3</sup> )	11.0	11.3	10.2	11.6	12.1	A
3	漁業生産量	10 万トン (9.8 万トン)	9.9	9.6	10.1	10.2	9.1	C
4	県産農産物等を優先して購入したい県民の割合	17.4% (10.4%) (県政世論調査)	—	—	14.6	—	18.0	A
5	多面的機能の発揮や理解促進のための活動への県民参加人数	年間 40 万人	49	44	43	50	52	A

※ ( ) の数値は基本計画策定時の現状